

4校合同東北ボランティア活動・野球部員がボランティアに参加

令和4年1月15日

(神戸地区4校合同東北ボランティア活動)

東日本大震災の翌年から、神戸・東灘・御影・葺合の4校は合同で現地に赴きボランティア活動に従事してきました。残念ながら今年も引き続き、コロナ禍により現地での活動はできませんでした。そこで、代替の活動として、東日本大震災を経験された3人の方々をお招きし、講演会を開催することになりました。本校からは15人の希望者が参加しました。

と き：1月15日9時～12時

と ころ：東灘区文化センターうはらホール

研修内容：講演「災間を生きる君たちへ～震災の教訓と人材の育成～」

齋藤 幸男 先生（元宮城県立石巻西高等学校長）

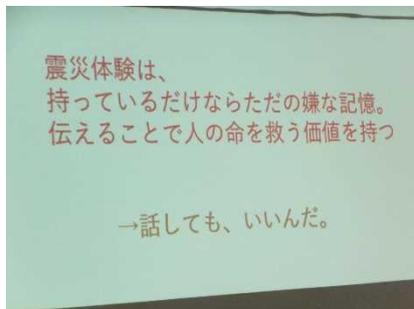
講演「心の復興とは何か～震災を語り継ぐ～」

語り部 雁部 那由多 様（東北学院大学学生）

歌とお話 シンガーソングライター asari 様

齋藤先生は「防災という教育」は「命と向き合う教育」だと仰いました。雁部さんはボランティアというものを分かり易く説明してくださいました。asariさんの歌「恩送り」が心にしみました。

参加者全員が、いろんなことを考えるきっかけを与えてもらった研修だったと思います。この会の開催にあたって地域の組織「深江を善くする会」の皆様にお世話になりました。



(野球部員がボランティアに参加)

15日午後、1月17日に東遊園地で灯される、竹製の灯籠を並べるボランティアに、本校野球部員が参加しました。